

# INFORMATION

## 平成29年度酪農全国基礎調査結果の概要

本会議は、公益財団法人全国競馬・畜産振興会畜産振興事業「酪農経営・労働条件実態調査事業（平成29～30年度）」の一環として、平成29年度に酪農全国基礎調査を実施した。調査対象は、平成29年9月1日現在、指定生乳生産者団体の直接会員又は間接会員であった全国の酪農家で、酪農経営主自らが調査票に記入する自記式アンケート調査とした。調査票の回収率は72.6%で、地域別には北海道が50.9%、都府県が86.3%であった。

### (1) 経産牛飼養規模別の酪農家戸数

酪農経営全体でみると、経産牛の平均飼養頭数は52.6頭で、経産牛飼養規模別の酪農家戸数は30頭未満が37.4%、30～50頭未満が28.1%、50頭以上が33.2%を占めている。

地域別にみると、北海道（77.7頭）と都府県（43.4頭）の経産牛平均飼養頭数の差は大きく、50頭以上層の酪農家が占める割合は北海道（62.7%）が都府県（22.3%）を40.4ポイント上回っている。

また、都府県では、50頭以上層の割合、平均飼養頭数ともに、東海（31.5%、57.9頭）、九州（31.9%、51.4頭）、沖縄（37.5%、47.9頭）が多く、東北（12.2%、29.4頭）が少なかった。

	酪農家数	単位：戸、%											平均 （〇を含む）	
		0頭	10頭未満	20頭未満	30頭未満	40頭未満	50頭未満	75頭未満	100頭未満	150頭未満	200頭未満	200頭以上		無回答
全体	10,379	0.0	6.2	14.3	16.9	15.1	13.0	17.2	6.8	5.0	1.8	2.5	1.3	52.6
北海道 (都府県計)	2,817 7,562	0.0 0.0	0.6 8.2	2.6 18.7	5.5 21.2	11.3 16.5	15.3 12.1	31.0 12.0	13.8 4.1	9.5 3.4	3.8 1.1	4.5 1.7	2.1 1.0	77.7 43.4
東北	1,499	0.0	15.7	26.0	22.1	13.8	8.9	8.0	1.9	1.2	0.4	0.7	1.3	29.4
関東	2,516	0.0	6.2	18.7	22.9	17.0	13.3	11.2	3.7	3.3	1.0	1.9	0.7	45.9
北陸	293	0.0	7.8	20.5	25.6	17.4	8.2	16.7	1.7	1.0	0.3	0.7	0.0	34.2
東海	660	0.0	6.8	12.3	15.3	18.6	13.8	14.7	6.4	4.8	1.8	3.8	1.7	57.9
近畿	355	0.0	11.8	16.6	18.9	18.3	9.6	13.2	3.9	2.5	0.8	1.1	3.1	38.1
中国	527	0.0	9.5	19.4	21.1	15.0	12.1	10.6	4.7	3.4	1.9	1.3	0.9	42.6
四国	324	0.0	7.7	21.3	23.5	14.8	13.0	10.5	3.1	3.1	0.3	2.2	0.6	40.8
九州	1,372	0.1	3.4	13.5	18.8	17.8	13.8	15.8	6.7	5.8	1.5	2.0	0.7	51.4
沖縄	16	0.0	0.0	6.3	18.8	6.3	31.3	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	47.9

### (2) 経営主の年齢

酪農経営全体でみると、「40歳代」（16.3%）、「50歳代」（24.6%）、「60歳代」（37.1%）で78.0%を占めており、平均経営主年齢は57.3歳であった。

地域別には、北海道・都府県間に大きな差異がみられた。北海道では50歳代以下（北海道67.2%、都府県42.3%）、都府県では60歳代以上（北海道29.4%、都府県54.1%）の割合が高く、平均経営主年齢では都府県（59.2歳）が北海道（52.1歳）を7.1歳上回った。なお、平均経営主年齢でみると、都府県では沖縄（54.4歳）、九州（56.0歳）等が低く、近畿（61.4歳）、四国（61.0歳）等が高かった。

経産牛飼養規模別にみると、概ね小規模層ほど高齢層の割合と平均年齢が高く、大規模層ほど若齢層の割合が高くて平均年齢が低いという傾向がみられた。

	酪農家数	単位：戸、%							平均 （〇を除く・ 〇を除外）	担い手確保率 （1+2+3）
		30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答		
全体	10,379	0.7	7.5	16.3	24.6	37.1	10.3	3.5	57.3	
北海道 (都府県計)	2,817 7,562	0.9 0.6	13.7 5.2	23.2 13.7	29.4 22.8	27.7 40.6	1.7 13.6	3.4 3.6	52.1 59.2	
東北	1,499	0.5	5.3	13.1	20.7	46.6	10.6	3.1	59.2	
関東	2,516	0.3	3.6	11.4	23.5	43.1	16.1	1.9	60.5	
北陸	293	0.7	5.5	9.2	17.4	49.8	15.7	1.7	60.7	
東海	660	0.8	5.2	16.2	24.4	34.8	13.2	5.5	58.5	
近畿	355	0.6	3.1	14.9	16.9	36.1	22.8	5.6	61.4	
中国	527	0.6	7.6	15.9	20.5	36.2	15.4	3.8	58.5	
四国	324	1.9	2.5	10.2	19.1	35.5	19.1	11.7	61.0	
九州	1,372	0.7	8.0	18.1	27.5	34.3	7.4	4.1	56.0	
沖縄	16	6.3	6.3	25.0	18.8	37.5	6.3	0.0	54.4	
【経産牛飼養頭数別（全国）】										
5頭未満	144	0.7	2.1	6.9	17.4	29.9	41.7	1.4	65.7	
10頭未満	498	0.8	1.4	6.4	12.7	44.6	30.7	3.4	65.3	
20頭未満	1,489	0.2	2.0	8.3	20.1	47.0	18.9	3.4	62.4	
30頭未満	1,754	0.7	4.0	12.7	25.4	44.0	11.1	2.2	59.2	
40頭未満	1,563	0.9	6.7	14.7	28.2	38.1	8.6	2.9	57.1	
50頭未満	1,349	0.9	8.0	21.6	25.7	34.5	7.3	2.0	55.5	
75頭未満	1,781	0.6	13.1	21.1	27.8	30.2	4.5	2.7	53.6	
100頭未満	702	1.0	14.4	21.8	25.9	29.3	4.3	3.3	52.9	
150頭未満	522	0.4	11.7	26.4	24.7	29.1	3.8	3.8	52.9	
150頭以上	443	0.5	11.5	24.8	24.6	29.3	3.8	5.4	53.3	
無回答	134	0.0	6.0	6.0	12.7	17.9	3.7	53.7	56.6	
【経産牛飼養頭数別（都府県）】										
5頭未満	144	9.7	4.2	1.4	65.3	18.1	1.4	15.3		
10頭未満	498	8.6	8.8	1.8	59.2	20.3	1.2	19.3		
20頭未満	1,489	10.5	10.2	2.6	57.0	17.9	1.8	23.4		
30頭未満	1,754	17.4	16.4	3.6	43.4	17.1	2.2	37.3		
40頭未満	1,563	22.3	23.9	2.9	33.5	14.5	2.9	49.1		
50頭未満	1,349	30.5	27.1	2.4	23.0	12.2	4.9	59.9		
75頭未満	1,781	34.8	28.9	2.8	14.0	12.2	7.4	66.4		
100頭未満	702	37.2	28.3	3.3	10.7	10.8	9.7	68.8		
150頭未満	522	38.5	29.7	2.9	6.1	10.3	12.5	71.1		
150頭以上	443	36.8	31.6	2.5	4.3	13.8	11.1	70.9		
無回答	134	11.9	17.2	1.5	13.4	8.2	47.8	30.6		

### (3) 担い手確保状況

酪農経営全体でみると、『経営主が50歳未満』の経営が24.5%、『経営主が50歳以上又は年齢不詳で、就農している後継者がいる』経営が21.8%、『経営主が50歳以上又は年齢不詳で、就農している後継者がいない』経営が2.8%を占めている。

これらを合計した「担い手確保率」は49.0%であり、地域別にみると、北海道（56.1%）、九州（56.0%）で高く、四国（39.5%）、北陸（39.9%）で低かった。経産牛飼養規模別にみると、「担い手確保率」は飼養規模の大きい層ほど高くなる傾向がある。

(4) 全酪農従事者1人当たり

の1日当たり総労働時間
酪農従事者全体でみると、
総労働時間に関しては『8~
11時間未満』(42.1%)を中
心として『6~11時間未満』
の従事者が約6割を占めてお
り、全酪農従事者の平均総労
働時間は7.5時間であった。

地域別にみると、酪農従事
者の平均総労働時間は北海道
(7.8時間)、東海(7.6時間)、
九州(7.6時間)で若干長く、
東北(7.0時間)、近畿(7.0時
間)、北陸(7.2時間)で若干
短かった。経産牛飼養規模別
にみると、概ね飼養規模が大
きくなるとともに長くなる傾
向がみられた。

Table with 18 columns (1-16) and 19 rows (Total, 北海道, 都府県計, 東北, 東海, 北陸, 近畿, 中国, 四国, 九州, 沖縄). Includes a detailed sub-table for '【経産牛飼養頭数別 (全国) 延」.

(5) 全酪農従事者1人当たり

の1日当たり搾乳時間
酪農従事者全体でみると、
搾乳時間に関しては『2~5時
間未満』(60.9%)を中心とし
て『5時間未満』の従事者が8
割以上を占めており、全酪農
従事者の平均搾乳時間は3.1
時間であった。

地域別にみると、酪農従事
者の平均搾乳時間は北海道
(3.5時間)、四国(3.2時間)
で若干長く、近畿(2.5時間)、
沖縄(2.5時間)、中国(2.7時
間)、北陸(2.7時間)で短か
った。経産牛飼養規模別にみ
ると、飼養規模が大きくなると
ともに長くなる傾向がみられ
た。

Table with 18 columns (1-16) and 24 rows (Total, 北海道, 都府県計, 東北, 東海, 北陸, 近畿, 中国, 四国, 九州, 沖縄). Includes a detailed sub-table for '【経産牛飼養頭数別 (全国)】'.

(6) 搾乳牛舎の空きスペースの有無

酪農経営全体でみると、搾乳牛舎に空きス
ペースが『ある』という経営は55.8%であった。
地域別にみると、空きスペースが『ある』
経営の割合は、北海道(41.5%)よりも都府県
(61.1%)の方が高く、とりわけ北陸(68.3%)、
中国(65.7%)、関東(65.0%)、近畿(63.4%)
が高かった。経産牛飼養規模別にみると、規
模の増大に伴い低下するという傾向がみられ
た。

Table with multiple columns. Left side: '【経産牛飼養頭数別 (全国) 延」 with columns for '酪農家数' (1-3) and 'None/Yes/No Answer'. Right side: '【経産牛飼養頭数別 (全国) 延」 with columns for '酪農家数' (1-5).

(7) 平成30年度の生乳生産計画

酪農経営全体についてみると、『増産する』
が25.9%、『減産する』が7.0%、『生産中止する』
が2.1%となっており、拡大意向(『増産』)が
縮小意向(『減産』)と廃業意向(『生産中止』)
の合計を16.7ポイント上回った。なお、来年度
の生乳生産計画で最も多かったのは『現状維
持する』で62.6%に及んだ。

地域別にみると、『増産』意向が九州(33.5%)、
北海道(31.0%)で高く、四国(18.2%)、東海(19.4%)で低かった。経産牛
飼養規模別にみると、飼養規模の大きい階層ほど『増産』意向が高く、『現状維持』意向が低かった。